

安曇野歴史サロン5月例会

南から考える地形と遺跡

北部だけじゃない安曇野の古代

安曇野市内の縄文時代から中世以降の埋蔵文化財包蔵地は約400カ所。市内には時代ごとにどのような場所に遺跡は存在しているのでしょうか？

奈良から平安時代の安曇郡（平）の郷の数は面積の割に県内でも少ないのはなぜでしょうか？

遺跡のある立地や分布から時代ごとの特徴を概観していきます。

講師 寺島俊郎 氏（貞享義民記念館 館長）

<講師プロフィール>

1959年穂高町生れ。35歳まで長野県埋蔵文化財センター勤務。以後、中信地区の中学校で社会科教諭。定年退職後、貞享義民記念館勤務。長野県考古学会会員。

日時 2023年5月27日(土)午後2時～3時半

会場 安曇野市 穂高会館 会議室 1・2

参加費 500円（資料代として 会員無料）

申込不要（定員：70名*入場多数の場合はお断りすることがあります）

*感染症の状況によっては、中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

*咳・発熱のある方、体調不良の方はご遠慮ください。

次回予告 6月25日(日)14時～豊科公民館 大会議室

安曇野市上ノ山窯跡群の竪穴住居再考

山上の古代集落 山田真一氏



新年度会員募集中

入会金：無料 年会費：2000円

*講演会・学習会の参加費無料

主催 安曇誕生の系譜を探る会

お問い合わせ 事務局（川崎） ☎090-5779-5058